



2020年9月29日

各位

会社名 株式会社デュアルタップ
 代表者名 代表取締役社長 臼井 貴弘
 (コード: 3469)
 問合せ先 取締役財務経理部長 本田 一郎
 (TEL. 03-6893-0001)

連結業績予想に関するお知らせ

2020年8月7日に公表しました「2020年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年6月期(2020年7月1日～2021年6月30日)の連結業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	9,206	391	318	193	56.51
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2020年6月期)	7,254	426	366	250	73.06

2. 公表の理由

2021年6月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による事業及び業績への影響を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしましたので、公表いたします。

資産運用型マンション市場における現状は、東京都への移動は制限され転居も少なくなっているものの、賃料や入居率の大幅な変化はなく、マンションの資産性は維持できていると考えております。賃貸のマーケットは崩れておらず、日本の感染者数は、世界各国と比較すると低水準に抑えられており、中長期的には投資先として安全性があるとの認識が高まったと感じております。当面、新型コロナウイルス感染症の収束は見込めないもの、再度、経済活動が著しく制限されることはないという前提のもと、当社連結業績に与える影響は一定の範囲内に留まると予想しております。

通期の連結業績予想においては、2020年7月～8月の事業環境が継続することを前提としております。政府の緊急事態宣言下と比較して、外出自粛等の影響が縮小することでマンション販売戸数が増加し、売上高は前年同期を上回る見込みであります。一方で、用地コストや建設コストの高騰により、個々の販売物件の利益率は減少傾向にあることから、営業利益、経常利益、当期純利益は前年同期を下回る見込みであります。

今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況の変化等により、大きな変動が見込まれる場合は、速やかに連結業績予想の修正を公表いたします。

3. 配当予想について

2020年8月7日の「2020年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した配当予想から修正はございません。

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	3.00	—	10.50	13.50
2020年6月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	11.50	11.50

以 上